

島は大変お世話になりました。ありがとうございます。御返
事あり。

さて、あなたには、相次ぐの先輩の死去はか
りて、よくお察せらるるはあり。お歩きなるとは、私が博文
館で『新書』の新聞広告係りをやりながら、フラ
ンス・コントの教習をして居る時分、からの知とて
し、高見順は、私が博文館の次に就職したついで、
Pで三中間、喧嘩をしながらの同僚でした。彼は
教育畑と言つて、学模向きのシートを作る係で、部
長は西脇さんと言ふ人。部では高見さん一人、つまり
二人つまりの部で、現任の末之人は高呼わフェーに
あり、彼が書きやすみの時間にラジエーターに行くので、
我々がカバーしてやうとしたのです。

彼が死なして、二月ほどあつて、私が直腸ガン
にあることがあり、私は昨年一月末手術、五
月退院で、これに
に、切實なものか
とにかくガンは
次に青島に
と、経済文芸(

de 2nd sept. 1965

東京都文京区本郷五、四、六
玉川一
811-5777